

5. 使った水はどこへ行くの？

(1) 水路を通り、堤防をくぐって川へ

微生物の力を借りてきれいにされた排水は、川に流されます。

川に流れこぶ前に堤防があるので、堤防をくぐる水路＝樋門を通ります。

(→ 樋門 p111、p95、p71)

注意!!…どんな水路でも、おぼれる可能性はあります。特に地下水路は、とつぜん深くなっていることもあり、大変危険です。絶対入らないこと。



排水は堤防に沿った水路の流れ、樋門(左円内)を通過して堤防をくぐり、川に出る。これらは、雨水を流し出す役目も持っている(→ p95)。

(2) 川から取り、川に返す

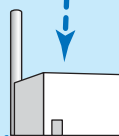
このように、土幌のでんぷん工場で使う水は、音更川から取って使ったあと、きれいにしてから、音更川に返しています。

そういう意味では、でんぷん工場(そして、でんぷんを使う人の暮らし)は川の一部だといえます。



取水のためのせき※2

音更川
おとふけがわ



でんぷん工場



樋門から川へ



微生物できれいに

川とでんぷん工場、浄化施設のかかわりイメージ図
(土幌町農協でんぷん工場の例)

協力・問い合わせ

※土幌町農業協同組合澱粉工場 01564-5-2313

※1 樋門(ひもん): 排水(はいすい)や取水をするための、堤防(ていぼう)をくぐる水路で、洪水の流入を防ぐとびらがっている。小さなものでコンクリート管で造られたものは樋管(ひかん)という。

※2 せき(堰): 取水のため、また流量や水位を調節するため、川の途中(とちゅう)や湖・池の出口などに流れをさげぎって造られた構造物。